

2017年度「教員相互による公開授業参観」

—「公開授業参観報告書」について—

2017年度後期に実施しました「教員相互による公開授業参観」に関します「公開授業参観報告書」の全面公開を行います。

「教員相互による公開授業参観」については、2014年度実施分までの成果と課題の総括を踏まえて、教員の教授力の向上を図る研修会の実施、従来の紙媒体による報告書の改善等を検討してまいりました。

これまでは、公開授業の一覧表を作成し参観の希望を受け付けていましたが、時間的制約のため参観が難しい等の理由で公開しても参観者なし、という授業が散見されました。今回「教員相互による公開授業参観」を再開するにあたり、約1カ月間、すべての授業を公開とし、互いに参観しやすい期間を設けました。

また、紙媒体による報告書をメールで提出できるよう変更し、報告内容も参観者からのコメント欄を充実させ、授業担当者がより活用しやすくというねらいで改訂しました。学生の態度や動き等も含め、参観者のコメントが授業担当者に新たな気づきをもたらし、授業改善につながることを期待するものです。

報告書の全面公開により、実際に授業参観をされなかった教員にも、種々のインプットが得られるのではないのでしょうか。各教員が抱えている教育上の問題を共有し、解決のためのヒントを得ること、また教育上参考になることを少しでも多く得られることができればと願うものです。こうした意図やねらいがどの程度実現されているかご思料頂ければと思います。

※報告書は開講科目の属す学科ごとに振り分け、保育学科、ライフデザイン総合学科、「総合福祉コース」の順で掲載しています。学科・コース内では参観授業の実施日順としています。また「公開授業参観報告書」目次も作成しておりますので、ご参照のうえ閲覧下さい。目次内の「頁番号」はPDF ファイルのツールバーにあります番号と合致しています。

平成30年3月

FD 委員長
榊原 和子

平成 29 年 10 月吉日

各 位

四條畷学園短期大学 FD 委員会
副学長・FD 委員長 榊原 和子

「教員相互による公開授業参観」の実施について

平素より本学の教育・学生指導にご尽力賜り、心より厚く御礼申し上げます。

今年度後期より、下記の通り「教員相互による公開授業参観」を実施いたします。

授業を公開および参観することにより、自身の授業の改善に役立てることを目的とします。

「教員相互による公開授業参観」は 2014 年度まで実施してきましたが、公開される授業が限られていたため、「参観したいが時間的制約のため困難」との声が少なくありませんでした。FD 委員会で検討の結果、今年度からは下記期間中の「すべての授業の公開」をお願いする次第です。従来行っておりました参観の事前のやりとりも廃止いたします。

期間中であれば、ご都合のつく時に随時参観が可能になります。授業担当の先生方におかれましては、参観者がいることで授業の進行および学生の学修に重大な支障が生じる懸念のある場合を除き、参観をご許可下さいますようお願い申し上げます。

以上、何卒ご理解いただき円滑な実施にご協力のほどよろしくお願いいたします。

記

実施期間：平成 29 年 10 月 30 日（月）～ 11 月 25 日（土）

公開授業：期間中に実施されるすべての授業

参観回数：専任教員 1 回以上（非常勤の先生方：任意）

- ※『公開授業参観報告書』のご提出を「参観した授業ごと」をお願いいたします。
ユニパ掲示板より書式をダウンロードし、作成後、メールでご送付下さい。
なお、公開授業参観報告書は、本学ホームページでの公開を予定しております。
あらかじめご了承下さい。

メール宛先:FD 委員 安谷 (m-yasutani@jc.shijonawate-gakuen.ac.jp)

〆切：平成 29 年 12 月 16 日（土）

以上

*ご質問等ございましたら、FD 委員（榊原・安谷・鍛冶谷）にお問い合わせ下さい。

2017 年度公開授業参観報告書 入力フォーム

参観授業科目名		授業担当者	
	<input type="checkbox"/> 必修	先生	
	<input type="checkbox"/> 選択		

授業を参観して、ご自分の授業に取り入れたいと感じた教授方法や指導上の工夫
⇒

⇒	⇒
授業を参観したご意見・感想 及び改善策	授業中の学生の態度や動きに対する ご意見やご感想など

参観記録記入者	参観実施日				
先生	2017 年	月	日	曜日	限
	学舎			教室	

22017 年度 開授業参観報告書 記入例

どちらかを一方をクリックして下さい

参観授業名には
学科・コース名は不要

参観授業科目名		授業担当者	
	<input type="checkbox"/> 必修	安谷 元伸 先生	
	<input type="checkbox"/> 選択		

授業を参観して、ご自分の授業に取り入れたいと感じた教授方法や指導上の工夫

⇒

250 字～300 字程度で
ご記入下さい

⇒

200 字～250 字程度で
ご記入下さい

授業を参観したご意見・感想
及び改善策

⇒

200 字～250 字程度で
ご記入下さい

授業中の学生の態度や動きに対する
ご意見やご感想など

参観記録記入者		参観実施日				
先生		2017 年	月	日	曜日	限
		学舎			教室	

2017年度 公開授業参観報告書 目次

(敬称略)

開講学科	授業科目	授業者	参観者	頁番号
保育	保育実習指導Ⅱ	長谷	合田	6
	障害児保育	杉本(*)	曾和	7
	保育実習指導Ⅰ(施設)	合田	長谷	8
	保育・教職実践演習	鍛冶谷	山田	9
	児童家庭福祉	曾和	鍛冶谷	10
	児童家庭福祉	曾和	香月	11
	音楽Ⅱ	淡路	千田	12
	保育・教職実践演習	鍛冶谷	林崎	13
ライフ	臨床心理学	赤田	工藤	14
	医薬と検査	伊東	奥田	15
	オフィスマネージメント	山本(*)	上田	16
	医療秘書実務	兵頭(*)	伊東	17
	ウェブプログラミング演習	平塚(*)	安谷	18
	日本語表現法	赤田	工藤	19
	食の科学B	赤田	奥田	20
総合福祉	指導法の研究	榊原	吉井	21
	医療的ケアⅢ	吉井	榊原	22
	生活支援技術	山内	石川	23
	介護総合演習Ⅳ	石川	山内	24

注:教員名の後の(*)印は、非常勤であることを示す。

参観授業科目名		授業担当者	
保育実習指導Ⅱ	<input checked="" type="checkbox"/> 必修	長谷 秀揮 先生	
	<input type="checkbox"/> 選択		

授業を参観して、ご自分の授業に取り入れたいと感じた教授方法や指導上の工夫
⇒改めて、保育の学生には口頭での説明だけでなく、技術的な手法（手遊び）を授業のなかに取り入れると、それがアクセントになり、気持ちを集中し直す状況を目の当たりにしました。ただ、単純に専門外の者が保育技術を披露するのは、指導上に問題がでてくると考えられる。

その他、視覚教材（DVD）の使用については、技術的手法と同様の効果があるのも確認できた。

また、「漢字テスト」を継続的に実施されているようで、1年次よりの継続的な取り組みの効果があるようで、全体的に好成績を取っていたようで、まさに「継続は力なり」を痛感させてもらった。

⇒受講生が40名近くになっているため、「演習授業」の取り組みが、十分に機能していない感が否めなかった。1年次開講の「保育実習指導Ⅰ」のようにもう少し、人数を絞った形態での授業の必要性を感じた。しかしながら、教員の「持ちゴマ数」との関係もあり、単純にコマ数を増やすのも難がある。

⇒受講人数との関係もあり、授業に集中していた学生とそうでない学生が見受けられた。

参観記録記入者		参観実施日			
合 田 誠 先生	2017年	11	13	月曜日	4限
		月	日		
	清風学舎		小児保健実習教室		

参観授業科目名		授業担当者	
障害児保育	<input checked="" type="checkbox"/> 必修	杉本 節子 先生	
	<input type="checkbox"/> 選択		

授業を参観して、ご自分の授業に取り入れたいと感じた教授方法や指導上の工夫
⇒1点目として、授業の最初に今日の“授業の流れ”を板書して、その内容に概ね即して授業を展開していることです。というのは、私も毎回、授業の流れを口頭で学生に伝えていますが、学生にとって今日の“授業の流れ”への理解を促していくために、板書した方が望ましいと感じました。

2点目としては、当該授業が演習科目ということで、本日の授業では4期までの期案（保育計画）の起案を、学生個人又はペアで授業内に作成するように指導したうえ、レポート課題を本日の授業内で、その提出を求めたことです。演習科目という区分の授業であり、授業のテーマに基づいた課題に向き合い、その課題をクリアするための学生自身の“考動”の大切さを改めて認識致しました。

⇒授業の流れに即しつつ、絵本の読み聞かせ一つを取りあげても、学生の反応を確認しながら、臨機応変にその読み聞かせを行ったところなどをはじめとして、授業全体を取りあげても、授業アンケートの内容を公開されるといったように、創意工夫がなされ、多くの点で感心させられました。

少し気になったところとして、当該科目が演習科目という科目の性格上、受講学生の側から、授業内容に沿った意見出しのできる時間を設けてもよいのではないかと思いましたが、いかがなものでしょうか。

授業を参観したご意見・感想
及び改善策

⇒多くの学生の名前を覚えられて、必要なコミュニケーションを取っている姿に感じるところが少なからずありました。私の場合、学生とのコミュニケーションのはじめの一歩としての学生の名前をすべて覚えきれていない（特に目立たない学生の名前など）ので、今からでもしっかりと覚えていく必要性を痛感いたしました。

また、僅かではありますが、ところどころ寝ている学生も見られました。どのようにして、寝ないような“集中と爆発”のある授業に心がければ良いのかという問題を感じました。

授業中の学生の態度や動きに対する
ご意見やご感想など

参観記録記入者	参観実施日				
曾和 信一	2017年	11月	13日	月曜日	2限
	清風学舎				401教室

参観授業科目名		授業担当者	
保育実習指導 I (施設)	<input type="checkbox"/> 必修	合田 誠	先生
	<input checked="" type="checkbox"/> 選択		

授業を参観して、ご自分の授業に取り入れたいと感じた教授方法や指導上の工夫

⇒ 1. 出欠確認が丁寧で、しっかりと学生と向かい合って確認している点がとても良いと感じました。学生とのアイコンタクトを意識してとり、身体全体も一人一人の学生に正対されていましたし、後ろ側や端の座席の学生には教壇から降りて、よく顔が見える位置で点呼されていました。

2. 説明や指示が、はっきりした声と緩急をつけたテンポで、とても聞き取り易く感じました。ぜひ真似をさせていただこうと思いました。

3. 板書が教室の一番後ろの席からでも見やすく、分かり易い点が素晴らしいと思いました。字の大きさや、スペースの使い方等について自分の授業に取り入れていきたいと思いました。

⇒授業全体が、まずとても丁寧で、かつテンポが良くアクティブな印象が強く残りました。最初の出欠確認からその印象があったのですが、学生としっかりと向き合い、そして学生にとって分かり易く、かつ理解し易い授業を意識しながら丁寧に行なっているからではないかと推察いたします。

特に印象的なエピソードとしては、学生が質問した際に、質問の内容を聞き取り、応える先生の表情や態度に誠実さと丁寧さが溢れていたことです。ぜひ自分も授業でそのように出来る様に努力したいと考えます。

授業を参観したご意見・感想
及び改善策

⇒指示や説明等が明確で、はっきりとしていて判り易いので、授業によく集中している学生がほとんどだった。特に授業前後の挨拶については、先生が、「服装と姿勢を正して！元気よく！」と、言葉をかけて促してから行っていたこともあってか、全員の学生がしっかりと出来ていて、素晴らしいと思いました。

また、授業の内容が結構盛りだくさんの中身で時間的にどうかと、思っていたが、終了前に若干の時間的な余裕を作り、振り返りや質問の時間を保障されていて学生も満足そうな様子でした。

授業中の学生の態度や動きに対する
ご意見やご感想など

参観記録記入者	参観実施日				
長谷 秀揮 先生	2017年	11月	8日	水曜日	2限
	清風学舎			402教室	

参観授業科目名		授業担当者	
保育・教職実践演習	<input checked="" type="checkbox"/> 必修	鍛治谷静 先生	
	<input type="checkbox"/> 選択		

授業を参観して、ご自分の授業に取り入れたいと感じた教授方法や指導上の工夫
⇒本時の授業について初めに問いを持たせ、授業の目標を明確にし、記述や穴埋めのプリントを用いて、自ら考え記入させることで、学生は集中して取り組むことができていたと思います。

授業の流れがスムーズでとても分かりやすいと思いました。

また、学生が考える時間やパワーポイントを書き写す時間などをしっかりと確保しておられることで、全員が授業に参加しやすいと思いました。私はいつも学生から、「早い」と言われるので、時間の取り方が参考になりました。

⇒2年間の集大成としての、本授業の位置づけを学生に意識させる授業内容で、これまでに獲得してきた知識を活用した深い学びや実践的な学びに繋がっていたと思います。

授業を参観したご意見・感想
及び改善策

⇒学生が考えやすいプリントなので、真剣に取り組む姿がありました。

また、授業にメリハリがあり、考える時間や聞く時間の切り替えができ、集中して取り組む学生が多かったです。

中には集中できない時もありましたが、授業中の学生からの質問に対し、先生自身の体験談を取り入れながら分かりやすく説明されることで、学生は集中し興味を持って聞いていました。

授業中の学生の態度や動きに対する
ご意見やご感想など

参観記録記入者		参観実施日				
山田秀江 先生		2017年	11月	24日	金曜日	2限
		清風学舎		小児保健実習室		

参観授業科目名		授業担当者	
児童家庭福祉	<input checked="" type="checkbox"/> 必修	曾和信一 先生	
	<input type="checkbox"/> 選択		

<p>授業を参観して、ご自分の授業に取り入れたいと感じた教授方法や指導上の工夫</p> <p>⇒</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の冒頭に、「今日の予定」を時間配分も含めて説明する ・導入に児童養護施設で育つ子どもについての絵本を用い、学生に読ませることで関心をひきつける ・学生の中に立ち、大教室であるが学生ひとりひとりの様子を見ながら授業をすすめる

<p>⇒</p> <p>大変貴重なビデオで、学生にはインパクトを与えると同時に、利用者や職員の声を聞くことで福祉の現場に対する理解が实际的、立体的になる効果があると思った。</p> <p>くどくどしい解説をあえて付け加えないことで、それぞれの学生が多様な感想を持てる可能性についても気づかされた。ありがとうございました。</p> <p>授業を参観したご意見・感想 及び改善策</p>	<p>⇒</p> <p>学生は児童養護施設で育った当事者のインタビューを含むビデオを熱心に見ていた。スライドと教科書の参照で理解を深めているようだった。</p> <p>授業中の学生の態度や動きに対する ご意見やご感想など</p>
---	--

参観記録記入者	参観実施日				
鍛治谷 先生	2017年	11月	15日	木曜日	2限
	清風学舎			402教室	

参観授業科目名		授業担当者	
児童家庭福祉	<input checked="" type="checkbox"/> 必修	曾和信一 先生	
	<input checked="" type="checkbox"/> 選択		

<p>授業を参観して、ご自分の授業に取り入れたいと感じた教授方法や指導上の工夫</p> <p>⇒</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆学生が教壇に立ち、学生が絵本を読むなど、学生の活躍の場面設定 一方的な教授ではなく、質問や活動を所々に入れ、あきさせない工夫が授業の雰囲気明るくしていた。 ◆私語をやめさせるため、学生が受け入れやすいジェスチャールール 注意する場面、方法を決めておられる様子で、学生もそのタイミングと方法に慣れており、素直に聴き入れていたように感じた。 ◆授業のタイムスケジュール化 絵本（10分）→映像（30分）→教科書・パワポ（45分）学生は授業のメリハリ、リズムに慣れ、集中して、受講していた。
--

<p>⇒</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先生の柔らかい言葉やしぐさがとても良く、学生も心地よく受講していると感じた。 ・私語に対しては、流さず必ず注意されていた。 ・学生が素直に受け入れるための「注意の方法」、また授業タイムスケジュールを確立されていて、学生が飽きない工夫を学ばせていただいた。 <p>授業を参観したご意見・感想 及び改善策</p>	<p>⇒</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ざわざわするが、教員が聞いてほしいと思うところは、聞こうとする姿勢が見られた。 ・主体的活動場面（絵本読み・教科書の音読）でも、臆せず、活動しようとする意欲が感じられた。また友達の音読を聞こうと、まわりの学生が静かに集中していた。 <p>授業中の学生の態度や動きに対する ご意見やご感想など</p>
--	--

参観記録記入者	参観実施日				
香月欣浩 先生	2017年	11月	22日	木曜日	2限
	学舎				402教室

参観授業科目名		授業担当者	
音楽Ⅱ	<input type="checkbox"/> 必修	淡路 和子	先生
	<input checked="" type="checkbox"/> 選択		

授業を参観して、ご自分の授業に取り入れたいと感じた教授方法や指導上の工夫

⇒

- ・ ピアノ個人レッスンと声楽集団レッスンの合間の時間に理論講義室（電子ピアノの練習室）で行われる集団指導を参観したが、一人ひとりに対してとても熱心で的確な指導をされており、とても参考になった。
- ・ 本学独自の和音マークの指導や足で拍子をとること、運指の番号記入など、学生が現在取り組んでいる曲だけでなく、どんどんどんどん次の課題についても指導されていて、頭が下がる。
- ・ 今取り組んでいるレベルや課題は一人ひとり違うのだが、その学生が困っていることを的確に見抜いて指導されていて、流石だと感じた。真似して出来ることではないが是非見習いたい。

⇒

- ・ 本学では、ピアノ個人レッスンと声楽集団レッスンの合間の時間に、電子ピアノの個別指導を行っており、学生が有意義に授業時間を過ごせるよう取り組んでいるが、使用している電子ピアノの老朽化が激しく、修理が間に合わない現状がある。しっかり計画を立てて、徐々にでも新しい機種に入れ替えていきたい。

授業を参観したご意見・感想
及び改善策

⇒

- ・ ほとんどの学生が集中してよく練習している。しかし、イヤホンと変換ジャックは自分のものを使用する決まりなのだが、変換ジャックを忘れてくる学生が居て、その対応が悩みの種である。変換ジャックを使用しなくても使えるように電子ピアノに改良を加えられればよいのだが、良い方法が見つからず、苦慮している。

授業中の学生の態度や動きに対するご
意見やご感想など

参観記録記入者		参観実施日				
千田 耕太郎 先生	先生	2017年	11月	23日	木曜日	3限
		総合ホール学舎			理論講義室 教室	

参観授業科目名		授業担当者	
保育・教職実践演習	<input checked="" type="checkbox"/> 必修	鍛治谷 静 先生	
	<input type="checkbox"/> 選択		

授業を参観して、ご自分の授業に取り入れたいと感じた教授方法や指導上の工夫

⇒ ・グループ編成の方法
 ・プリント作成の仕方
 ・パワーポイント利用の仕方

⇒ 保育者となる前の総括に相応しい授業で、学生が関心を持ちながら学べる題材を選定なさり、当方も興味を持ちながら楽しく参観させていただきました。グループ編成時に座席移動があり、学生の気分転換と集中力アップにつながっていました。また、グループでの話し合いについて記入するワークシートもご準備をされ、グループ活動の目的から外れることなく話し合いが行われ、最終的なグループでの結論をまとめやすくする工夫がなされていました。今後、自身の授業でも学生への配布プリントの工夫をしていきたいと思いました。

授業後にあった学生からの質問のように、自分の考えや価値観が保育や保護者支援に影響を与えることについてのコメントや学生が考える時間がとれば、さらに深い学びに繋がったろうと思いますが、恐らく先生もそのご予定だったろうと推察しております。グループワークの難しさも改めて感じました。

授業を参観したご意見・感想
及び改善策

⇒ 学生はのびのびと学習をしていました。グループ活動も積極的に発言している姿が見られ、自分の意見を言うことと他者の意見を聞くことができていました。また、前回授業の解説時は学生がスムーズにプリント学習に入っていくことができていました。これまでの授業の流れが定着していることが窺えました。

授業中の学生の態度や動きに対する
ご意見やご感想など

参観記録記入者		参観実施日				
林崎 治恵 先生	先生	2017年	11月	17日	金曜日	3限
		清風学舎		小児保健実習教室		

参観授業科目名		授業担当者	
臨床心理学	<input type="checkbox"/> 必修	赤田太郎	先生
	<input checked="" type="checkbox"/> 選択		

授業を参観して、ご自分の授業に取り入れたいと感じた教授方法や指導上の工夫
⇒見やすいパワーポイントが作成されていて良い。
昨今、空欄補充型のパワーポイントが多いが、リアルタイムで下線を引き、学生と共有できる点が良い。

教室の広さと受講者の人数バランスが良く、大変授業を受けやすい座席配置、指定をされていて、学生も教員も共に授業しやすい環境が保たれていて素晴らしいと感じた。

理論と事例のバランスがうまく取れていて、学生を飽きさせない授業展開になっていてよい。

⇒説明の中に「女性によくある～」
「女性は××だ」の発言が気になった。
異性の教員の発言なので、学術的な背景があったとしても学生から反発が出る可能性は高い。説明上要注意と思った。

レジメとパワーポイント記載の箇所を探すのが瞬時に対応するのが難しく、改善の余地は感じた。

授業の最後にまとめの問題を解く(まとめ)問題があり、振り返りができて大変有効であり素晴らしいと思った。

授業を参観したご意見・感想
及び改善策

⇒黙って教室を出ていく(たぶんトイレ)
学生を放置しないことが肝要。必ず一言許可を得させるべき。出入り自由は厳禁とする。

授業受講上のルールを文章化して学生に渡している点は素晴らしい。ぜひ上記のトイレに関しても付け加えてほしい。

学生は全く一言も私語なく集中しており、熱心に質問するなど、授業の態度、雰囲気、申し分なく指導力の賜物と思われる。素晴らしい。

授業中の学生の態度や動きに対する
ご意見やご感想など

参観記録記入者		参観実施日				
工藤真由美 先生	先生	2017年	11月	22日	水曜日	3限
		清風学舎			504教室	

参観授業科目名		授業担当者	
医薬と検査	<input type="checkbox"/> 必修	伊東 めぐみ 先生	
	<input checked="" type="checkbox"/> 選択		

授業を参観して、ご自分の授業に取り入れたいと感じた教授方法や指導上の工夫
⇒複数の授業で共通の項目を指導されていましたが、各授業やテキストでの名称の違いなどを、一つひとつ丁寧に、かつわかり易く解説されていました。また、パワーポイントの文字が大きく、全体に統一されていました。このような、学生の理解を深めることに重点を置いた授業姿勢と工夫を、私の授業にも取り入れたいと思いました。

⇒説明される時、テキストとサポートブックの両方の該当箇所を的確に指示されていて、熱心に学ぶ学生の集中を高めていましたが、よく聞いていない学生も見受けられました。
ただ、後で自分で記述させる復習課題は、あまり熱心でない学生はそのまま記述しない可能性を感じました。
例えば前の授業で指示を出し、事前学習させ、授業で質問したり、発表させたり、課題用紙を提出させるなど、評価に入れてはどうかと思いました。

授業を参観したご意見・感想
及び改善策

⇒教室の前方の座席の学生は熱心に学んでいましたが、後方になるほど、居眠りや、私語をする学生が多く見られました。座席指定にすることで、かなり改善できるのではないかと思います。
(伊東先生がすでに、変更をご検討中とのことでした)

授業中の学生の態度や動きに対する
ご意見やご感想など

参観記録記入者		参観実施日				
奥田 玲子 先生	先生	2017年	11月	17日	金曜日	3限
		清風学舎			502教室	

参観授業科目名		授業担当者	
オフィスマネージメント	<input type="checkbox"/> 必修	山本 みどり	先生
	<input checked="" type="checkbox"/> 選択		

授業を参観して、ご自分の授業に取り入れたいと感じた教授方法や指導上の工夫
⇒指導上工夫なさっていると感じた点は、授業内で独自のルールを作り、テキストの忘れ物や授業中の私語防止の対策を講じられている点と、授業内で学生が質問しやすい雰囲気を作られている点です。

⇒中間アンケートの履修者の要望で、「もっと演習を取り入れてほしい」という意見がありましたが、『秘書技能検定2級対策（筆記試験）』という授業内容の性質上、それは必要ないのでは…と思いました。授業内で演習を取り入れると、どうしても時間が取られ、肝心の筆記試験対策に集中することができません。そのことを、第1回目の授業オリエンテーションで履修学生たちにしっかりと告知し、理解させたほうがよいと思います。ちなみに、『秘書技能検定準1級面接試験対策』を意識した演習は、前期科目の『ビジネス実務演習』と後期科目の『ビジネス総合演習』で行っていません。

授業を参観したご意見・感想
及び改善策

⇒きっと学生からの要望もあつてのことだと思いますが、若干、授業の流れがスローペースだったように思います。履修学生の能力差があるので、どのレベルの学生に焦点をおくのが難しいところではありますが、『秘書技能検定2級対策（筆記試験）』という授業内容の性質上、もう少し難易度の高い過去問題を取り入れるなど、2級試験合格を目指せる学生を意識した授業進行を工夫されたほうがよいと思いました。

と申しますのは、能力の高い学生たちが、退屈そうにしていたのが気になりました。

授業中の学生の態度や動きに対する
ご意見やご感想など

参観記録記入者		参観実施日				
上田 知美 先生	先生	2017年	11月	20日	月曜日	3限
		北条学舎			第1教室	

参観授業科目名		授業担当者	
医療秘書実務	<input type="checkbox"/> 必修	兵頭 眞由美 先生	
	<input checked="" type="checkbox"/> 選択		

授業を参観して、ご自分の授業に取り入れたいと感じた教授方法や指導上の工夫

小テストを返却するとき、一人ずつ簡単にアドバイスやコメントを与えながら返却されていました。→私が担当している科目でも小テストを取り入れている科目がありますが、履修人数が多いので毎回は無理そうですが、何回かはそういう方法で返却したいと思いました。先生がコメントを付けることで、小テストを学生自身が振り返るきっかけになっているように見受けられました。

・その日の小テスト実施前にテスト内容をいくつか学生を指名して答えさせ、テスト前学習をさせていました。→これも、テストに向けてのやる気を引き出すウォーミングアップになっているように見受けられ、とても良いと思いました。私自身の授業での導入を考えてみたいと思います。

<p>⇒途中、ロールプレイングを入れる授業のため、学生を立たせたり、移動させたり、また、ペアを作らせる場面がありました。こういった学生が自らアクションを起こしてセッティングをする必要がある場合、モチベーションが低い学生はなかなか行動しないので、そういう学生の対応が人数が多くなると難しい面があると感じました。この授業では、比較的少人数だったこともあり、なかなか行動できない学生には先生が横について指導されておられて、スムーズに進行していました。</p>	<p>⇒どの授業でもしっかり学習する気がある学生と、そうでない学生がおり、モチベーションの低い学生はテキストを開くのもプリントを出すのもなかなか出来ないことが多いですが、そういう学生には、先生が特に気を配っておられていました。人数が多くなると難しくなりますが、できるだけ学生全員に気を配って授業を進めることが重要だと感じました。</p>
<p>授業を参観したご意見・感想 及び改善策</p>	

参観記録記入者		参観実施日				
伊東 めぐみ 先生	清風学舎	2017年	11月	23日	木曜日	4限
						405教室

参観授業科目名		授業担当者	
ウェブプログラミング演習	<input type="checkbox"/> 必修	平塚 聡 先生	
	<input checked="" type="checkbox"/> 選択		

授業を参観して、ご自分の授業に取り入れたいと感じた教授方法や指導上の工夫
⇒細かいHTMLの説明の際などに、的確に場所を指し示すためスティックを利用していた。非常にわかりやすいため、今後の演習系の授業の説明時に取り入れていきたい。

⇒スモールステップで授業は組立られており1つ1つの作業は分かり易い。しかし、説明が少し難しいため、もう少し補足説明が欲しいと感じた。また、説明時に学習者の方を向かないため、学生が迷っているのか理解できているのかの把握が行えていない状況が指摘できる。それが、説明の進度などに影響していることも考えられるため、その辺りを意識して進めると、さらに分かり易い授業になると考えられる。

授業を参観したご意見・感想
及び改善策

⇒前方の表示されるhtmlの内容を書き写す作業とその作業についていくことに必死になっている様子も伺えるものの、学生は私語なども少なく非常に真剣に取り組んでいる。分からない時は、分からないと声を上げることもできており、演習系授業の学習の態度としては良い姿勢であると感じた。

授業中の学生の態度や動きに対する
ご意見やご感想など

参観記録記入者		参観実施日				
安谷 元伸 先生	先生	2017年	11月	6日	月曜日	1限
		北条学舎			第1PC教室	

参観授業科目名		授業担当者	
日本語表現法	<input checked="" type="checkbox"/> 必修	工藤真由美 先生	
	<input type="checkbox"/> 選択		

授業を参観して、ご自分の授業に取り入れたいと感じた教授方法や指導上の工夫
⇒講義が「表現法の習得」と「語彙の増加」に基づいてセクション化されていて、それぞれのセクションで集中力が持続するように設計されていました。また学生を時間中に座らせているだけではなく、答えをホワイトボードに書くように指示することによって、体を動かすことによる気分転換が促されていました。文章表現の習得では、はじめに例題を解説し、その後、類似の問題に取り組みさせることで、繰り返し学ぶ機会が提供されていました。資格取得やスキルの取得を目指す講義において、これらの取り組みを積極的に取り入れたいと考えています。また、私の講義で実施している振り返りシートの記入においては、ただやみくもに感想を記入させる「ありのまま神話」ではなく、感情や体験の言語化に対する指導が必要だと感じました。

⇒文章作成能力がライフデザインを達成するために重要な要素だと改めて感じました。導入については学生が感じている「苦手意識」から取り上げており、文章作成の抵抗感の軽減に配慮されていました。語彙を増やさなければならないというテーマでは、講義外学習で講義に基づく課題が提示され、各講義間をつなぐ橋渡しになっていると思いました。また、テストの採点が行われるため、自分の努力や能力の達成度が見えやすいと思いました。

授業を参観したご意見・感想
及び改善策

⇒受講生が少なかったため、グループワークとしての要素を参観することができなくて残念でしたが、逆に学生は少人数の中で、大変丁寧な指導を受けることができしており、大変贅沢な時間が提供されているように感じました。学生も工藤先生の語りかけに対してうなづきながら理解を深めているように感じました。

授業中の学生の態度や動きに対する
ご意見やご感想など

参観記録記入者		参観実施日				
赤田太郎 先生	先生	2017年	11月	24日	金曜日	3限
		北条学舎			北10教室	

参観授業科目名		授業担当者	
食の科学 B	<input type="checkbox"/> 必修	奥田玲子 先生	
	<input checked="" type="checkbox"/> 選択		

授業を参観して、ご自分の授業に取り入れたいと感じた教授方法や指導上の工夫
⇒プリントとパワーポイントのスライドが連動されていることで、学生の集中を引き出しておられる点を、早速私の講義でも取り入れられたらと考えています。手持ちの資料を集めることで一つの冊子として完成できると、学生にとっても達成感につながるかもしれないと考えています。

また、学生の事前の調査研究についても、自ら資料を調べて発表するという取り組みが、学生の学びの意欲を高めていると感じました。知識を習得する部分と、グループ学習を進める部分に分けることで、講義のメリハリがついていると感じました。参照できる資料（入手困難性・特殊性のあるものなど）をこちらからも準備することで、いろいろな側面から学生の興味を引き出すことができると感じました。

⇒学生の事前のグループ学習についても、感想を読ませていただく中で、学生の学びが促進されていると感じました。ゼミなどで地域研究に取り組む際には、このような取り組みをしたいと考えています。

異なる分野の学びをさせていただくと、いかに心理学が妙な学問であることも実感しました。

授業を参観したご意見・感想
及び改善策

⇒グループ学習において、学生が役割分担をしている様子を見て、それぞれが責任を持ってテーマに取り組めていました。その際、絵がうまい人がイラストを担当するなど、個人の長所を生かしたプレゼン資料作りが行われていました。その資料はそれぞれに個性があり、達成感が得られているように思われました。

授業中の学生の態度や動きに対する
ご意見やご感想など

参観記録記入者		参観実施日				
赤田太郎 先生	先生	2017年	11月	17日	金曜日	2限
		清風学舎			401教室	

参観授業科目名		授業担当者	
指導法の研究	<input type="checkbox"/> 必修	美越 芳枝 先生	
	<input checked="" type="checkbox"/> 選択		

授業を参観して、ご自分の授業に取り入れたいと感じた教授方法や指導上の工夫
⇒○受講者への受講態度の指導

- ・出席点呼の際、顔を合わせ「元気ですか」と問い、『ハイ』と返答させる
- ・姿勢を正させ、机にうつ伏せて寝る学生には個別に名指しして注意を与えるので、寝る学生がいない

○課題R用紙は、出席しないともらえず、提出日に欠席すると受け付けない
(社会のルールとして徹底させておられる)

⇒5時限目(冬場の夕暮れどき)にも関わらず、全受講生が起きて授業に集中している点に驚きました。

覚えさせなければならない知識を、口頭で伝え(板書はほとんどしないとのこと)学生に記述させておられる点。「人に尋ねない・見せない。自分で処理に、考えること」を繰り返し伝えておられる点など、自主性を促す工夫を学ばせて頂きました。

授業を参観したご意見・感想
及び改善策

⇒寝ている学生の名前を呼んで注意されることで、日常態度の不良学生(私の授業では、少々注意しても無視して聞き入れない学生)が「ごめんなさい」と声を発している姿に驚きました。

初回授業での詳しい説明とそれを教員として毅然とした姿勢で貫き通すことの大切さを痛感しました。

参考にさせて頂くことの多い授業参観でした。感謝いたします。

授業中の学生の態度や動きに対する
ご意見やご感想など

参観記録記入者		参観実施日				
吉井 珠代 先生	清風学舎	2017年	11月	7日	火曜日	5限
						202教室

参観授業科目名		授業担当者	
医療的ケアⅢ	<input type="checkbox"/> 必修	吉井 珠代 先生	
	<input checked="" type="checkbox"/> 選択		

授業を参観して、ご自分の授業に取り入れたいと感じた教授方法や指導上の工夫
⇒ 医療的ケアのⅠ・Ⅱの講義を担当しているため、教授内容がⅢの演習にどのように反映されているか。また、学生の知識定着程度を確認したく参観させていただきました。
演習がスムーズに運ぶ準備と内容は、学生の演習への意欲と関心を高めるために効果的に工夫されていると感じました。
次年度は、こどもの保健Ⅱを担当することになっていますので、ぜひ参考にさせていただきたいと思いました。

⇒医療的ケアⅡの講義がⅢに生かされていることが良くわかりました。医療的ケアⅡの授業があと何回か残っていますので、今回の参観を意識した内容にしていきたいと思います。また、演習の人数が5人と少なく、羨ましくも感じた次第です。

授業を参観したご意見・感想
及び改善策

⇒医療的ケアの実際を実習中に観たりしている学生もおおり、卒業後に介護福祉の現場でたずさわる可能性があるため、学生全員が積極的に授業に参加し、お互いに助け合っている雰囲気、学びも深まると感じました。

授業中の学生の態度や動きに対する
ご意見やご感想など

参観記録記入者		参観実施日				
榎原 和子 先生	清風学舎	2017年	11月	22日	水曜日	3限
		介護実習室		教室		

参観授業科目名		授業担当者	
生活支援技術Ⅰ	<input type="checkbox"/> 必修	山内 弘美 先生	
	<input checked="" type="checkbox"/> 選択		

授業を参観して、ご自分の授業に取り入れたいと感じた教授方法や指導上の工夫
⇒
ターミナルケアでの緩和ケアの必要性について、テキスト、資料を用いて学生がイメージしやすいように教授していた。自身の授業でも資料等を用いているが、資料だけに頼らず、先生自身の持つ知識を交えた授業に工夫を感じる事が出来た

⇒
授業に関する動機付けが低い学生が多い中、緩和ケアという非常に重いテーマの授業であったが、先生自身の明るい性格や学生に語りかけるような授業であったので学生の集中度が高かった様に思われる

授業を参観したご意見・感想
及び改善策

⇒
学生の授業に対する集中度が高く、興味関心のある言葉に反応して意見や感想、質問など積極的に行う場面が多かった。

授業中の学生の態度や動きに対する
ご意見やご感想など

参観記録記入者		参観実施日			
石川 肇 先生	2017年	11	24	金	3限
	清風学舎	503教室			

参観授業科目名		授業担当者	
介護総合演習Ⅳ	<input checked="" type="checkbox"/> 必修	石川 肇 先生	
	<input type="checkbox"/> 選択		

授業を参観して、ご自分の授業に取り入れたいと感じた教授方法や指導上の工夫
⇒石川先生の授業を参観させていただき、教員が一方的に講義をするのではなく、学生と一緒に授業を進めておられた。
雰囲気を感じ取り、学生が少し講義に疲れ集中力が欠けてきていると、間を取られたり、違う話題を少し取り入れられていた。
教員の立場からは、ここまで進めたいという思いがあると学生の態度ややる気などに目を向けることなく進めていく傾向があるが、石川先生は常に学生を観察され、目を向けながら授業を進行されていたので、自身も自分本位で授業を進めていないか見直せる機会となり、勉強になりました。

⇒アットホームな雰囲気が感じられた。
学生からの意見も飛び交い、一人一人が自分の思いや意見を述べており、全員が授業に参加していた。
それは、石川先生が常に学生を観察され、目を向けながら授業を進行されていたからではないか。
自身も自分本位で授業を進めていく傾向ある為、先生の授業に参加させていただき見直せる機会となり、勉強になりました。

授業を参観したご意見・感想
及び改善策

⇒学生がのびのびと授業を受けていた。
全員が授業に参加し、意見を述べ、話せる授業は少ないと思うが、皆が色々な意見を出し合って進行している授業であった。
学生において、意見や質問をしたくてもできない学生もいる中で、石川先生の授業では、一人一人が積極的に意見を出し合える、全員が参加している授業であった。

授業中の学生の態度や動きに対する
ご意見やご感想など

参観記録記入者		参観実施日			
山内 弘美 先生	2017年	11月	21日	火曜日	3限
	清風学舎				503教室